

新たな観光の核づくり事業報告会

大磯町新たな観光の核づくり事業の具現化のため、平成25年度に実施した「大磯町における景観・観光資源の再生・利活用検討調査」の報告会、及び有識者によるパネルディスカッションを実施し、町民の皆様により、新たな観光の核づくり基本計画の改訂を図ります。

を中心とする概要報告

- ・菅 考能氏（株山手総合計画研究所代表取締役）
- ・「パネルディスカッション」大磯町の新たな観光まちづくりについて
- ・コーディネーター
- ・黒岩祐治神奈川県知事
- ・パネリスト
- ・渡辺美智子氏（インターナショナル青和専務取締役）
- ・山口明宏氏（建築家・大磯港みなとまちづくり協議会副会長）
- ・石塚沙矢香氏（大磯在住アーティスト）
- ・伊藤玄二郎氏（星槎大学教授・かまくらペンクラブ代表）
- ・水村 優氏（西部グループ顧問）
- ・中崎久雄大磯町長

【時間】13時～15時30分

【場所】大磯プリンスホテルパンケットホール

【主催】大磯町新たな観光の核づくり事業報告会実行委員会

【定員】250人

【報告会】新たな観光の核づくりの拠点形成事業計画

【報告書の閲覧】大磯町本庁舎1F情報コーナー又は、大磯町観光ホームページ「[isotabi.com]」内よりダウンロード

【募集期間】5月1日（木）～5月30日（金）

【返信方法】郵送、FAX又は

✉ kankou@townoiso.kanagawa.jp

kanagawa.jp

お問い合わせ 産業観光課・観光の核づくり担当 ☎内線 265

第57回 大磯西行祭

献詠俳句・短歌 入選作決定!!

第57回大磯西行祭を3月30日に開催し、皆様から募集しました献詠俳句・短歌の各部門の入選作品が決定しました。

選者の献詠された句・歌及び入選作品は次のとおりです。（敬称略・学年は応募時のもの）

【選者】

● 献詠句

鍵和田柚子

西行忌歩けぬ木々は葉を鳴らす

河野 薫

西行の三十一文字の花浴びぬ

島谷 征良

花の陰西行しのぶ波の音

本井 英

汀までだから坂を西行忌

長安 節

定めなき雲の行方や西行忌

◎ 献詠歌

柳 宣宏

木木の間の小さき不二に立ちどまり

二回礼をす野球帽脱ぎて

今井 恵子

雪掻きにくわわる一人また一人

雪降る朝の声弾ませて

花山 多佳子

あたたかき雨に霞めるささらぎの

空気がうごかし亡き人の声

【応募入選作品】

◎ 献詠俳句

（一般の部）応募総数463句

第一位 伊勢原市 齋藤 延子

左義長太鼓

海にねむりしものたちへ

第二位 千葉市 氏家 昌子

第三位 越谷市 佐久間清観

第四位 武蔵野市 田沢健次郎

第五位 大磯町 江口 義彦

第六位 大磯町 安池 一雄

【小学生の部】応募総数272句

第一位 聖ステパノ学園小6年 安井 亮太

秋の日が

かがやかせるのは金閣寺

第二位 大磯小6年 川崎ひかり

第三位 大磯小6年 千賀楓馬

第四位 国府小4年 吉川知花

第五位 大磯小5年 鎌田理桜

第六位 聖テペ小3年 深川樹里

【中学生の部】応募総数518句

第一位 大磯中3年 星野真那

熟終えて帰る夜道やだるま市

第二位 川越市立福原中2年 新井琢也

第三位 大磯中3年 岡木啓介

第四位 川越市立福原中3年 永見未来

第五位 大磯中3年 前倉一樹

第六位 大磯中3年 小池里英

◎ 献詠短歌

【一般の部】応募総数118首

第一位 鎌倉市 丹羽美智子

終電の行きし線路を

照らし出す

保線作業に

聖夜更けゆく

第二位 小田原市 川口 克子

第三位 平塚市 星野 一英

第四位 平塚市 熊沢 雅晴

第五位 茅ヶ崎市 谷口美知子

第六位 伊勢原市 増井 智子

【小中学生の部】応募総数156首

第一位 国府小4年 関野真希

秋の田の

金の米のかり後は

寒さにまけぬ

命のすごさ

第二位 大磯中2年 柴田高平

第三位 国府中2年 和田友実

第四位 大磯中2年 鈴木悠太

第五位 国府中2年 田口真理奈

第六位 国府中2年 宮代真帆

新たな観光の核づくり事業

提案報告に対する意見募集

【報告書の閲覧】大磯町本庁舎1F情報コーナー又は、大磯町観光ホームページ「[isotabi.com]」内よりダウンロード

kanagawa.jp

産業観光課 ☎内線 248